

8-4-12 ダム・発電専門委員会

1. 主な活動の記録

令和6年度は、下記に示すイベントの実施の他、協会WG活動、外部委員会等に参加した。

- ① ダム設計に関する技術勉強会
- ② 地質技術報告会（地質分科会）
- ③ 現地見学会（地質分科会）
- ④ 若手技術者の意見交換会
- ⑤ CMED会との意見交換会
- ⑥ RCCM 自主学習教材改訂

(1) 委員会の開催

開催回数：8回。対面形式を基本として実施。

(2) 協会活動等への協力・支援

a) 照査特別WG

エラー事例の収集と要因分析に基づく品質セミナーのテキスト作成に参加した。エラー事例は、設計編2事例および調査編1事例の合計3事例を提出した。

b) 水資源機構対外活動委員会WG

水資源機構への要望に関するアンケートについて、専門委員会内各社が実施した業務について回答を集約し提出した。

c) 生産性向上WG

令和6年度も委員1名が参加した。

(3) ダム設計に関する技術勉強会

技術レベルの向上および研鑽を目的としたダム設計に関する技術勉強会を開催した。

- ・開催日：令和6年10月28日（月）
- ・開催場所：日本工営(株)本社会議室＋Web ライブ配信
- ・講師：永山 功 氏（永山ダム技術啓蒙研究所、元・日本ダム協会技術顧問、元・土木研究所水工グループ長）
- ・テーマ：『ダム再生（再開発）事業についてーダム技術者に求められる真価ー』
- ・参加者：66名（専門委員会参加企業技術者）

(4) 地質技術報告会

ダム関連の地質・設計技術者を対象に、技術力の向上と交流を図ることを目的として、地質

技術報告会を開催した。

- ・開催日：令和6年8月24日（土）
- ・開催場所：星稜会館大ホール＋ライブ配信
- ・テーマ：『DX時代における地質技術』
- ・参加者：265名（公募）

(5) 現地見学会

ダムの建設現場において技術力向上の啓発を目的として現地見学会を開催した。

- ・開催日：令和6年11月21日（木）22日（金）
- ・見学場所：新丸山ダム（建設中）、他
- ・参加者：19名（公募）

(6) 若手技術者の意見交換会

プレゼンテーション能力・技術力向上を図ることを目的とし、担当した業務に関し、若手技術者5名による発表と意見交換及び有識者による特別講演を開催した。

- ・開催日：令和6年11月18日（月）
- ・開催場所：ベルサール九段＋ライブ配信
- ・若手技術者の発表：5名、参加者：46名
- ・特別講演講師：ダム工事総括管理技術者会（CMED会） 内藤 明 会長
- ・特別講演テーマ：『ダム施工に関する技術資料の紹介／ダム現場における CIM 活用による効果について』

(7) CMED会との意見交換会

ダム工事総括管理技術者会（CMED会）との意見交換会を開催した。

- ・開催日：令和6年9月17日（火）
- ・開催場所：銀座ブロッサム＋ライブ配信
- ・テーマ：「働き方改革と担い手の確保」「生産性の向上」「品確法の的確な運用」他

(8) RCCM 自主学習教材改訂

令和6年度版は内容を大幅に改定し提出した。

(9) 外部委員会

- ・河川砂防技術基準改定検討委員として参画、ダム再生の執筆協力などを行った。

2. 次年度活動について

次年度も「1. 主な活動の記録」に示した活動を継続的に実施する予定である。

（ダム・発電専門委員会委員長 大橋 広治）